

ながおかししょうがいしゃせいかつじったいちょうさ 長岡市障害者生活実態調査

ながおかし れいわ ねん がつ だい き ながおかししょうがいしゃきほんけいかく しょうがいふくしけいかく
長岡市では、令和6年3月に「第7期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画
だい き しょうがいふくしけいかく しょうがいしゃしきく すす らいねんど けいかく
第3期障害児福祉計画」をつくり、障害者施策を進めてきましたが、来年度、計画
みなお おこな
の見直しを行います。

みなお き そしりよう ながおかししょうがいしゃせいかつじったいちょうさ おこな
この見直しにあたり、基礎資料とするため、「長岡市障害者生活実態調査」を行
います。

ちょうさひよう げんざい う きよういく りよういく だんかい しゅうがくまえ りよういく きよういくだんかい
この調査票は、現在受けている教育（療育）段階が就学前の療育・教育段階
しょうがいしゃてちょう じどうつうしよじゅきゅうしやしょう も かた おく
である障害者手帳や児童通所受給者証をお持ちの方にお送りいたしました。

こんかい ちょうさ しょう こじんじょうほう ながおかしこじんじょうほう ほ ごじょうれい もと てきせい
今回の調査で使用した個人情報、長岡市個人情報保護条例に基づく適正な
と あつか おこな
取り扱いを行います。

ちょうさひよう むきめい ちょうさけつ か けいかく みなお
また、調査票は無記名となっており、調査結果は、計画の見直しのためだけに
りよう ちょうさむくてきいがい もち
利用するもので、調査目的以外に用いることはありません。

みなさま いけん ようぼう ながおかし ふくしきく い たいせつ ちょうさ
皆様のご意見やご要望を長岡市の福祉施策に生かすための大切な調査です。
かいどう にんい きようりよく ねが
回答は任意となりますが、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

れいわ ねん がつ ちょう おか し
令和7年9月 長岡市

きにゅう ご記入にあたって

- ちょうさひよう なか しょうがい ほんにん
・調査票の中の「あなた」とは、障害のあるご本人のことです。
- ほんにん きにゅう かいどう むずか ばあい かぞく かた ほんにん
・ご本人が記入もしくは回答の難しい場合は、ご家族の方などがご本人のお
かんが き も きにゅう
考えやお気持ちを記入してください。
- れいわ ねん がつ にちげんざい じょうきよう こた
・令和7年8月1日現在の状況についてお答えください。

ちょうさひよう ちやくせつきにゅう どうふう へんしんようふうとう い ゆうそう
調査票に直接記入し、同封の返信用封筒に入れて、郵送してください。

ふうとう きって ひつよう じゅうしよ なまえ か ひつよう
封筒には、切手をはる必要も、住所・名前を書く必要もありません。

かいどうきげん 10 がつ にち けいようび
■回答期限：10月 日（曜日）まで

と あ さき
＜問い合わせ先＞

ながおかしふくしほけんぶ ふくしか
長岡市福祉保健部 福祉課

じゅう しょ ながおかしおおてどおり ちょうめ ばんち
住 所 〒940-8501 長岡市大手通1丁目4番地10

でん わ (0258) 39 - 2218 (直通)
電 話

ファックス (0258) 39 - 2256

でんし
電子メール fukushika@city.nagaoka.lg.jp

ちょう さ こうもく およ しょうほう こた
調 査 項 目 I 及 び II の 両 方 について、お答えください。

ちょう さ こうもく
調 査 項 目 I

とい 問 1	あなたは ^{なんさい} 何歳ですか。 ^{かいとうらん き にゆう} 回答欄に記入してください。
-----------	---

() 歳 (令和⁷年8月1日現在)

とい 問 2	あなたが ^も お持ちの ^{しょうがいしゃてちょう} 障害者手帳はありますか。 あてはまる ^{ばんごう} 番号 ^{すべてに○をつけてください。} すべてに○をつけてください。
-----------	---

1. ^{しんたいしょうがいしゃ て ちょうそうごうとうきゅう}身体障害者手帳 総合等級 1～3 級 ^{きゅう}
2. ^{しんたいしょうがいしゃ て ちょうそうごうとうきゅう}身体障害者手帳 総合等級 4～6 級 ^{きゅう}
3. ^{りょういく て ちょう}療育手帳 A
4. ^{りょういく て ちょう}療育手帳 B
5. ^{せいしんしょうがいしゃ ほけんふく し て ちょう}精神障害者保健福祉手帳 1～3 級 ^{きゅう}
6. ^{しょうがいしゃ て ちょう も}障害者手帳 は持っていない

とい 問 3	あなたは ^{げんざい} 現在、どこで ^く 暮らしていますか。 あてはまる ^{ばんごう} 番号に 1 つだけ○をつけてください。
-----------	---

1. ^{か ぞく}家族などの^{も いえ}持ち家 (一戸建て、^{ぶんじょう}分譲マンションなど)
2. ^{ちんたい}賃貸アパート・マンション、^{しゃく や}借家
3. ^{にゆうしょ し せつ}入所施設
4. その他 ()

とい 問 4	あなたは ^{げんざい} 現在、だれと ^く 暮らしていますか。 あてはまる ^{ばんごう} 番号に 1 つだけ○をつけてください。
-----------	---

1. ^{か ぞく}家族
2. ^{し せつにゆうしょ}施設入所
3. その他 ()

とい 問 5	あなたは現在、音楽や映画、絵画などの芸術・文化活動をしたり、見たり、 聴いたりしていますか（趣味を含む）。 あてはまる番号に <u>1</u> だけ○をつけてください。
-------------------	---

1. している
2. したいと思うが、していない
3. したいと思わない

とい 問 6	あなたは現在、スポーツをしていますか。 どちらか <u>1</u> つの番号に○をつけてください。
-------------------	--

1. している → 問 7 へ
2. していない → 問 8 へ

とい 問 7	問 6 で、「1. している」と答えた方にお聞きします。 あなたは現在、どのくらいスポーツをしていますか。 あてはまる番号に <u>1</u> だけ○をつけてください。
-------------------	---

1. ほぼ毎日
2. 週に 2～3 回
3. 週に 1 回
4. 月に 2～3 回
5. 月に 1 回
6. 年に数回

とい 問 8	問 6 で、「2. していない」と答えた方にお聞きします。 あなたは機会があれば、スポーツをしたいと思いませんか。 どちらか <u>1</u> つの番号に○をつけてください。
-------------------	--

1. したいと思う
2. したいと思わない

★次の表をご覧になってから、後の質問にお答えください。

相談窓口 そうだんまどぐち	内容 ないよう
障害者相談支援センター 相談支援センターふかさわ分室サンスマイル 障がい者支援センターあさひ 越路ハイム地域生活支援センター 相談支援センターふかさわ 障害者相談支援センターとちお	地域における生活の中でのさまざまな相談や福祉サービスの紹介や手続きの手伝いなどを行います。
障害者地域生活支援センター ながおかりょういくえん 長岡療育園	生活全般に関する相談を受け、助言や福祉サービス等の情報提供を行います。
障害者就業・生活支援センター 障害者就業・生活支援センターこしじ	就労面全般にわたる支援や日常生活上の支援を行います。
身体障害者相談員・知的障害者相談員	医療、補助具、生活、身の上、税金などの相談を受けます。
長岡市子ども家庭センター子ども発達相談室	子どもの成長や発達に関する不安や悩みごとの相談を行います。
子ども・青少年相談センター	不登校、学習や行動の悩み、就学、就労などの相談を行います。
長岡市学校教育課 特別支援教育係	特別支援教育、就学などの相談を行います。

問 9	すべての方にお聞きします。 あなたは上記のような相談窓口があることを知っていましたか。 どちらか1つの番号に○をつけてください。
-----	--

1. 知っていた → 問10へ
 2. 知らなかった → 問12へ

とい 問10	問9で、「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。 あなたは、困ったことや悩みごとを上記のような相談窓口で相談したことがありますか。最もあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-----------	--

1. 相談したことがある → 問12へ
2. 相談したが断られた → 問12へ
3. 相談したことがない → 問11へ

とい 問11	問10で、「2. 相談したことがない」と答えた方にお聞きします。 相談したことがない理由は何ですか。 最もあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-----------	--

1. 相談窓口の場所や電話番号を知らない
2. 相談窓口の場所が遠くて行きにくい
3. 相談窓口で相談したことを周囲に知られてしまうことが心配
4. 相談窓口の職員が信用できない
5. 相談することがない
6. その他（ ）

とい 問12	すべての方にお聞きします。 あなたは、相談支援ファイル「すこやかファイル」を知っていますか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-----------	--

1. 知っているし、利用している
2. 知っているが、利用していない
3. 知らない

とい 問13	すべての方にお聞きします。 あなたはどのような在宅福祉サービス等を利用していますか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-----------	---

1. 短期入所（ショートステイ）
 2. 日中一時支援
 3. ファミリー・サポート・センター
 4. 児童発達支援
 5. 保育所等訪問支援
 6. その他（ ）
 7. 在宅福祉サービス等を利用していない → 問16へ
- } → 問14へ

とい 問14	問13で、「1、2、3、4、5、6」と答えた方にお聞きします。 あなたはどのような理由で在宅福祉サービス等を利用していますか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-------------------	--

1. 親が働いていて不在のため、面倒を見てもらうことができないから
2. 親以外に面倒を見てくれる家族がいないから
3. 家族が体調不良または高齢のために面倒を見てもらうことができないから
4. ときどき家族に休息をとってもらうため（介護負担の軽減）
5. 自分の障害が重くて介護してもらうのが大変だから
6. 冠婚葬祭などで家族が不在になるから
7. 集団生活への適応や生活能力の向上のための訓練を受けるため
8. その他（ ）

とい 問15	問13で、「1、2、3、4、5、6」と答えた方にお聞きします。 在宅福祉サービス等は十分に利用できていますか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-------------------	---

- | | | |
|------------------|---|-------|
| 1. 十分利用できている | } | →問18へ |
| 2. おおむね利用できている | | |
| 3. 利用できないことがよくある | } | →問17へ |
| 4. ほとんど利用できていない | | |

とい 問16	問13で、「7. 在宅福祉サービス等を利用していない」と答えた方にお聞きします。 あなたが在宅福祉サービス等を利用していない理由は何ですか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-------------------	--

- | | | |
|--|---|-------|
| 1. 在宅福祉サービス等を利用したいが、十分に利用できないから | } | →問18へ |
| 2. 在宅福祉サービス等を利用する必要がないから
(施設入所している方も含みます) | | |
| 3. 在宅福祉サービス等があることを知らなかったから | | |

問17	問15 で、「3. 利用できないことがよくある」または「4. ほとんど利用できていない」と答えた方と、問16 で、「1. 在宅福祉サービス等を利用したいが、十分に利用できないから」と答えた方にお聞きします。 在宅福祉サービス等を利用できなくて困っていることは何ですか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
------------	---

1. 祖父母など親以外の家族の負担が増えた
2. 家族の用事をキャンセルした
3. 親が仕事を辞めた、または転職した
4. 親戚や近くの友人に負担をかけた
5. あなた一人で留守番をしなければならず、不安だった
6. その他（ ）

問18	すべての方にお聞きします。 あなたは、日常生活の中で、次の方法で情報を入手していますか。 入手している方は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
------------	--

1. テレビ
2. ラジオ
3. 新聞
4. 市政だより
5. インターネット
6. その他（ ）

問19	すべての方にお聞きします。 あなたは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」という法律があることを知っていますか。 どちらか1つの番号に○をつけてください。
------------	--

1. 知っている
2. 知らなかった

問20	すべての方にお聞きします。 あなたは、過去3年の間に、障害を理由として差別されたと感じた場面はありましたか。 あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u>
	※障害者差別をなくすため、①不当な差別的取扱いの禁止、②合理的配慮の提供が法律で定められています。 ①不当な差別的取扱いの禁止 …障害を理由にサービスの提供等を拒否、制限すること ②合理的配慮 …障害のある人が困っているときに、支援側の負担になりすぎない範囲で配慮をすること

1. 公共施設を利用する場面
2. 交通機関を利用する場面
3. 情報の取得や利用・意思疎通の場面
4. 買い物・外食の場面
5. 医療に関する場面
6. 教育に関する場面
7. 文化活動に関する場面
8. その他（
9. 差別を感じたことはない

→ 問21へ

問21	問20で、「1、2、3、4、5、6、7、8」と答えた方にお聞きします。 差別されたと感じたとき、どのように対応しましたか。 あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u>
-----	--

1. 相手に直接伝えた
2. 家族や友人など、身近な人に相談した
3. 公的機関に相談した
4. 誰にも言わなかった

とい
問22

問20で、「1、2、3、4、5、6、7、8」と答えた方にお聞きします。
あなたが、障害のある人への差別を解消するために必要と考えることは
何ですか。最もあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 福祉教育を充実させる
2. 講習会や学習会などを開催する
3. 施設や設備のバリアフリー化をさらに進める
4. 福祉サービスをさらに充実させる
5. 行政機関における配慮をさらに進める
6. 民間事業所における配慮をさらに進める
7. 教育における配慮をさらに進める
8. イベントなどへ参加しやすいよう配慮する
9. 障害者雇用をさらに進める
10. その他（ ）

つづいて「調査項目Ⅱ」の回答をお願いします。

とい 問 4	すべての方にお聞きします。 あなたは今後、どのようなサービスを利用したいですか。 あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u>
-------------------	---

1. 介護をしてくれる家族などに用事があるときや、家族などの病気や 休 養のため、短期間、施設に入所（宿泊）したい。
2. 休 日や放課後（降園後）などに介護をしてくれる家族などに用事があるときや、家族などの病気や休養のため、一時的に通所（日帰り）したい。
3. 出かけるときにホームヘルパーに付き添ってもらい、移動などを介助してもらいたい。
4. 日常生活に必要な能力を向上させたり、集団生活に適応できたりするための訓練を受けたり、地域と交流したりしたい。
5. 自宅にホームヘルパーに来てもらって、入浴や排泄などの身体介護を受けたい。
6. 家族による介護が日常的に難しいため、長期間、施設に入所して生活したい。
7. その他（ ）

とい 問 5	すべての方にお聞きします。 あなたは、日常生活における相談や支援について、普段どこに相談していますか。あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u>
-------------------	--

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 医療機関 | 8. 保育園 |
| 2. 市役所 | 9. 幼稚園 |
| 3. 児童相談所 | 10. 認定こども園 |
| 4. 通所支援施設 | 11. 特別支援学校（総合支援学校、聾学校など） |
| 5. 入所施設 | 12. 大学などの研究機関 |
| 6. 親の会・当事者団体 | 13. その他（ ） |
| 7. 障害者相談支援センター | |

とい 問 6	すべての方にお聞きします。 あなたは現在、保育園や幼稚園、認定こども園を利用していますか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 「4. 利用していない」と答えた方は、理由をお書きください。
-------------------	---

1. 保育園を利用している
2. 幼稚園を利用している
3. 認定こども園を利用している
4. 利用していない理由 ()

とい 問 7	すべての方にお聞きします。 小学校段階ではどのような学校・学級に就学したいと考えていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-------------------	--

1. 小学校の通常学級
2. 小学校の通常学級での通級による指導
3. 小学校の特別支援学級
4. 特別支援学校小学部（総合支援学校小学部、聾学校小学部など）
5. その他 ()

とい 問 8	すべての方にお聞きします。 問7で選んだ学校・学級に就学したいと考える理由は何ですか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-------------------	--

1. 現在と同じ療育や教育の支援を受けられると思うから
2. 地域との結びつきがあるから
3. 希望する学校への入学だから
4. 現在と環境が変わらないから
5. 同じ学校にきょうだいが通っているから
6. 仲のよい友だちと同じ学校に通えるから
7. 障害のない同年齢の子どもと一緒に学べるから
8. 障害に理解のある先生がいるから
9. 通学が便利だから
10. その他 ()

とい 問 9	すべての^{かた}方^きにお聞きします。 小^{しょう}学^{がっこう}校^{だんかい}段^{しゅう}階^{がく}の^{さき}就^{せん}学^{たく}先^{なや}を^{なや}選^{なや}択^{なや}するにあ^{なや}た^{なや}っ^{なや}て^{なや}悩^{なや}ん^{なや}で^{なや}い^{なや}る^{なや}こ^{なや}と^{なや}は^{なや}あ^{なや}り^{なや}ま^{なや}す^{なや}か。<u>ど^どち^ちら^らか^か1^いつ^つの^の番^{ばん}号^{ごう}に○をつ^つけ^けて^てく^くだ^ださ^さい。</u>
-------------------	---

1. ある →^{とい}問10 へ
2. ない →^{とい}問11 へ

とい 問10	^{とい}問9で、「1. ある」と答^{こた}え^{かた}た^き方^きにお聞きします。 あ^{なや}な^{なや}た^{なや}が^{なや}悩^{なや}ん^{なや}で^{なや}い^{なや}る^{なや}理^り由^{ゆう}は^{なん}何^{なん}で^{なん}す^{なん}か。 あ^{なや}て^{なや}は^{なや}ま^{なや}る^{なや}番^{ばん}号^{ごう}<u>す^すべ^べて^てに○をつ^つけ^けて^てく^くだ^ださ^さい。</u>
-------------------	--

1. 現^{げん}在^{ざい}と^{おな}同^{りょう}じ^{いく}療^{きょう}育^{いく}や^{しえん}教^う育^うの^{おも}支^し援^{えん}を^う受^うけ^うる^うこ^うと^うが^うで^うき^うな^うい^うと^う思^{おも}う^{おも}か^{おも}ら
2. 希^き望^{ぼう}す^がる^が学^が校^{こう}に^に入^に学^にで^にき^にな^にい^にか^にも^にし^にれ^にな^にい^にか^にら
3. 環^{かん}境^{きやう}が^か変^かわ^かる^かか^から
4. 障^{しょう}害^{がい}に^も基^もづ^もく^もい^もじ^もめ^もな^もど^もが^もお^もき^もな^もい^もか^も心^{しん}配^{ぱい}だ^{しん}か^{しん}ら
5. 障^{しょう}害^{がい}の^{どう}な^{どう}い^{どう}同^こ年^こ齢^この^こ子^こど^こも^こと^こ一^いっ^いし^いょ^いに^いま^いな^いに^いあ^いら
6. そ^たの^た他^た ()

とい 問11	^{とい}問9で、「2. ない」と答^{こた}え^{かた}た^き方^きにお聞きします。 あ^{なや}な^{なや}た^{なや}が^{なや}悩^{なや}ん^{なや}で^{なや}い^{なや}ない^{なや}理^り由^{ゆう}は^{なん}何^{なん}で^{なん}す^{なん}か。 あ^{なや}て^{なや}は^{なや}ま^{なや}る^{なや}番^{ばん}号^{ごう}<u>す^すべ^べて^てに○をつ^つけ^けて^てく^くだ^ださ^さい。</u>
-------------------	---

1. 日^ひご^しろ^しから^し就^{しゅう}学^{がく}に^{かん}関^{きょう}する^{いく}教^{しえん}育^う相^う談^うを^う受^うけ^うて^うい^うる^うか^うら
2. 現^{げん}在^{ざい}と^{おな}同^{りょう}じ^{いく}療^{きょう}育^{いく}や^{しえん}教^う育^うの^{おも}支^し援^{えん}を^う受^うけ^うる^うこ^うと^うが^うで^うき^うな^うい^うと^う思^{おも}う^{おも}か^{おも}ら
3. 希^き望^{ぼう}す^がる^が学^が校^{こう}に^に入^に学^にで^にき^にな^にい^にか^にも^にし^にれ^にな^にい^にか^にら
4. 環^{かん}境^{きやう}が^か変^かわ^から^かな^かい^かか^から
5. 同^{おな}じ^が学^が校^{こう}に^かき^かょう^かだ^かい^かが^か通^かっ^かて^かい^かる^かので、^あん^あし^あん^あか^あん^あが^ああ^ある^あか^あら
6. 障^{しょう}害^{がい}の^{どう}な^{どう}い^{どう}同^こ年^こ齢^この^こ子^こど^こも^こと^こ一^いっ^いし^いょ^いに^いま^いな^いに^いあ^いら
7. そ^たの^た他^た ()

○ 障 害者施策に関して、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協 力 ありがとうございます